



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川悦男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総務・経理統括兼経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也 (TEL) 072-855-2225  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 平成28年6月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	21,221	0.4	1,393	130.2	1,376	103.3	959	108.5
27年9月期第2四半期	21,135	△5.4	605	△45.6	677	△36.7	460	△36.8

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 △334百万円( -%) 27年9月期第2四半期 164百万円(△90.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	22.92	22.85
27年9月期第2四半期	11.00	10.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	49,547	29,682	59.7
27年9月期	50,714	30,323	59.7

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 29,603百万円 27年9月期 30,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年9月期	—	7.50			
28年9月期(予想)			—	10.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成28年9月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 2円50銭  
 配当予想の修正につきましては、本日(平成28年5月11日)公表いたしました「平成28年9月期 剰余金の配当(第2四半期)及び期末配当予想の修正(創業100周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	45,500	△3.9	3,100	26.5	3,100	17.1	2,100	△16.8
								50.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会社方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年9月期2Q	43,076,347株	27年9月期	43,076,347株
28年9月期2Q	1,215,200株	27年9月期	1,211,304株
28年9月期2Q	41,863,168株	27年9月期2Q	41,862,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済では、GDP成長率の伸び幅縮小やエネルギー関連業種の低迷が影響し、設備投資の動向に陰りが見え始めました。欧州経済は、引き続き雇用環境に回復傾向が見られるものの、新興国景気の低迷に伴い輸出が伸び悩み、製造業の設備投資も積極性に欠ける経済環境が続いております。アジア経済は、中国景気の減速や資源価格の低迷などを背景に、多くの国で鈍化傾向が続いております。

日本経済は、平成28年1月に日本銀行が「マイナス金利付量的・質的金融緩和」を導入しましたが、市場に大きなインパクトを与えることはなく、逆に株安、円高が進んでおります。その結果、国内外に対する慎重な見方が広がり、今後の設備投資は低調に推移する可能性が高まっております。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の受注高は242億9千9百万円（前年同期比6.4%の減少）、受注残高は197億3千6百万円（前年同期比1.7%の減少）、売上高は212億2千1百万円（前年同期比0.4%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は13億9千3百万円（前年同期比130.2%の増加）、経常利益は13億7千6百万円（前年同期比103.3%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億5千9百万円（前年同期比108.5%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <粉体関連事業>

当事業は、粉砕・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

二次電池や磁性材料向けなど、一部に明るさが見られる市場があるものの、全般的に大型案件を中心に受注の決定が遅延しており、受注高、受注残高ともに減少となりました。

これらの結果、受注高は168億4千8百万円（前年同期比6.6%の減少）、受注残高は124億3千万円（前年同期比5.3%の減少）となり、売上高は162億7千2百万円（前年同期比7.4%の増加）となりました。セグメント利益は12億2千9百万円（前年同期比60.3%の増加）となりました。

#### <プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

アメリカ市場向けが引き続き好調に推移したことに加え、トルコやブラジルなどの新興国向けの成約により受注高、受注残高、セグメント利益は大幅に増加しました。

これらの結果、受注高は74億5千万円（前年同期比11.3%の増加）、受注残高は73億5百万円（前年同期比20.6%の増加）となり、売上高は49億4千8百万円（前年同期比3.9%の増加）となりました。セグメント利益は6億7千7百万円（前年同期比42.3%の増加）となりました。

当社グループは「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH（ドイツ）の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末における財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、受取手形及び売掛金や有形固定資産の減少などにより11億6千7百万円減少し、495億4千7百万円となりました。負債は、借入金返済や未払費用の減少などにより5億2千5百万円減少し、198億6千5百万円となりました。純資産は、主に為替が円高に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが大きくなったことにより6億4千1百万円減少し、296億8千2百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億8千9百万円増加し、115億9千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億6千5百万円の資金の増加（前年同期比14億1千2百万円の増加）となりました。資金の増加要因として税引等調整前四半期純利益の増加及び前受金の増加がある一方、資金の減少要因は棚卸資産の増加、未払金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億8千3百万円の資金の増加（前年同期比23億5千7百万円の増加）となりました。主として短期貸付金の回収による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億9千2百万円の資金の減少（前年同期比7千4百万円の減少）となりました。資金の増加要因として長期借入金による収入がある一方、資金の減少要因は長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、今後の動向を勘案し、平成28年2月10日公表の数値を以下の通りに修正しております。

平成28年9月期通期連結業績予想の修正(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたりの 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	48,500	3,000	3,000	2,000	47.77
今回修正予想 (B)	45,500	3,100	3,100	2,100	50.17
増減額 (B-A)	△ 3,000	100	100	100	-
増減率 (%)	△ 6.2	3.3	3.3	5.0	-
(ご参考)前期実績 (平成27年9月期)	47,342	2,450	2,646	2,524	60.30

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,017	11,607
受取手形及び売掛金	11,652	10,687
有価証券	119	—
製品	1,748	1,523
仕掛品	2,278	3,139
原材料及び貯蔵品	2,325	2,193
繰延税金資産	460	450
その他	2,062	913
貸倒引当金	△164	△193
流動資産合計	30,500	30,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,325	16,473
機械装置及び運搬具	9,965	9,661
土地	4,555	4,433
建設仮勘定	50	67
その他	1,948	1,901
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,365	△15,873
有形固定資産合計	17,480	16,664
無形固定資産		
のれん	206	181
その他	269	227
無形固定資産合計	475	408
投資その他の資産		
投資有価証券	1,188	1,063
繰延税金資産	639	692
その他	439	406
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,258	2,152
固定資産合計	20,214	19,225
資産合計	50,714	49,547
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,974	4,645
短期借入金	—	38
1年内返済予定の長期借入金	1,724	439
未払費用	2,328	1,964
未払法人税等	278	474
繰延税金負債	100	119
前受金	2,561	3,423
賞与引当金	351	309
役員賞与引当金	58	39
製品保証引当金	434	466
ポイント引当金	35	40
その他	1,309	879
流動負債合計	14,158	12,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,802	2,728
退職給付に係る負債	4,222	4,103
繰延税金負債	37	64
その他	170	128
固定負債合計	6,233	7,024
負債合計	20,391	19,865
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	14,771	15,417
自己株式	△913	△915
株主資本合計	33,503	34,146
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	164	△85
繰延ヘッジ損益	△19	24
為替換算調整勘定	△2,820	△3,957
退職給付に係る調整累計額	△574	△525
その他の包括利益累計額合計	△3,249	△4,543
新株予約権	69	78
純資産合計	30,323	29,682
負債純資産合計	50,714	49,547



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	21,135	21,221
売上原価	13,848	13,655
売上総利益	7,286	7,565
販売費及び一般管理費	6,681	6,172
営業利益	605	1,393
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	8	11
持分法による投資利益	29	8
為替差益	37	—
訴訟関連費用戻入額	—	32
その他	36	42
営業外収益合計	132	117
営業外費用		
支払利息	21	18
為替差損	—	28
デリバティブ評価損	—	53
その他	39	34
営業外費用合計	60	134
経常利益	677	1,376
特別利益		
固定資産売却益	1	59
特別利益合計	1	59
特別損失		
固定資産処分損	3	7
特別退職金	13	—
特別損失合計	16	7
税金等調整前四半期純利益	661	1,428
法人税等	201	469
四半期純利益	460	959
親会社株主に帰属する四半期純利益	460	959

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	460	959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	△250
繰延ヘッジ損益	△33	44
為替換算調整勘定	△525	△1,137
退職給付に係る調整額	91	48
その他の包括利益合計	△295	△1,293
四半期包括利益	164	△334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164	△334
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	661	1,428
減価償却費	560	507
のれん償却額	23	24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	39
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△18
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△110	53
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16	99
受取利息及び受取配当金	△28	△33
支払利息	21	18
持分法による投資損益(△は益)	△29	△8
デリバティブ評価損益(△は益)	—	53
固定資産売却損益(△は益)	△1	△52
売上債権の増減額(△は増加)	1,493	525
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,223	△833
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,262	△216
前受金の増減額(△は減少)	565	1,055
未払金の増減額(△は減少)	△52	△340
未払費用の増減額(△は減少)	△149	△247
その他	△89	△282
小計	319	1,733
利息及び配当金の受取額	128	35
利息の支払額	△20	△18
法人税等の支払額	△374	△285
営業活動によるキャッシュ・フロー	52	1,465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	120
有価証券の取得による支出	△50	△177
有形固定資産の売却による収入	1	126
有形固定資産の取得による支出	△1,154	△279
無形固定資産の取得による支出	△74	△34
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	443
短期貸付金の回収による収入	—	879
その他	3	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,273	1,083
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△146	39
長期借入れによる収入	207	1,400
長期借入金の返済による支出	△416	△1,715
配当金の支払額	△310	△313
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△666	△592
現金及び現金同等物に係る換算差額	150	△366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,737	1,589
現金及び現金同等物の期首残高	9,894	10,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,157	11,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,156	4,762	1,215	21,135	—	21,135
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	—	243	252	△252	—
計	15,165	4,762	1,459	21,387	△252	21,135
セグメント利益又は 損失(△)	766	476	△129	1,113	△507	605

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△507百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,272	4,948	21,221	—	21,221
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,272	4,948	21,221	—	21,221
セグメント利益	1,229	677	1,907	△513	1,393

(注) 1 セグメント利益の調整額△513百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「製菓関連事業」を構成しておりましたHosokawa Bepex GmbH(ドイツ)の全株式を平成27年9月30日付で売却しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、「製菓関連事業」を報告セグメントより除外しております。